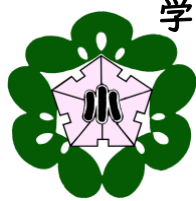


教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子  
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

高松

令和7年11月28日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es05/>

## 地域と学校の絆力

～八丈島 台風被害より～

校長 関口 保司

10月9日台風22号が八丈島を襲い、記録的な大雨と猛烈な風が吹き荒れました。復旧作業を阻むかのように、13日には台風23号が上陸。2つの台風は甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

実は、私が教員生活を始めたのは昭和60年、八丈町立榎立小学校（現在は近くの中之郷小学校、末吉小学校と統合し三原小学校となっています）でした。当時の全校児童は47人。私は2年生9人の担任から教員生活をスタートしました。その後4年間、八丈島での教員生活を続けましたが、そこで学んだことは「地域と学校の絆」です。地域の方々が、学校の子どもたちのために献身的に協力してくれました。授業（島の材料を活用した椿油絞りや草木染め、海での遠泳等）はもちろん、学校行事はまるで地域のお祭りでした。地域の方々が皆学校にやってきて、子どもたちを応援してくれました。特に運動会は圧巻です。子どもたちの競技の間に大人の競技やみんなで行う競技も入り、地域全体で盛り上がりしました。

そんな八丈島を台風が襲いました。当時私が住んでいた末吉地区の教員住宅も、大量の土砂が流れ込み、使える状態ではありません。水道や電気が止まり、通信もままならない状況が続きました。現在八丈島には3つの小学校があります。校長や副校長のなかには、立川市で勤めていた人もいます。多くの方に学校の状況を教えていただきました。ある小学校では、暴風雨で割れたガラスが、教室内に散乱しました。大量の雨水が屋根から侵入し、天井がゆがんでいます。子どもたちの掲示物は吹き飛ばされ、壁にかけていた道具類も雨に濡れてぐっしょり。校庭の大きな木が、折れてしまった学校もありました。

10日から始まった復旧作業では、地域の方や業者の方をはじめ、多くの方が学校に駆けつけてくれました。片付けや点検作業もまず学校を優先的に行っていただいたそうです。そして20日には全小中学校が学校を再開することができました。ある小学校では高学年の子どもたちが校長室に来て「校長先生。台風で被害を受けて大変な島の人たちに、私たちができることを考えています。」と伝えたそうです。校長先生は「元気に学校に通い、学校生活を楽しんでいる姿、運動会で全力で演技し、競技に取り組んでいる姿を、保護者や地域の皆さんに見せることが何よりも八丈を元気にします。」と答えられました。3校のうち2校は、今年度も運動会を実施。残る1校も12月に運動会を実施するそうです。

本校では11月1日に、保護者や地域の方とともに、「合同防災訓練」を実施しました。いざという時、学校は避難所になります。これからも学校・保護者・地域が一体になって様々な取組を進めていきたいと考えています。

11月29日（土）は学習発表会の保護者鑑賞日です。ぜひ多くの皆さまに子どもたちの発表をご覧いただき、大きな拍手を送っていただければ幸いです。児童数が多く教科担任制も進めている本校では、舞台の広さや練習時間の関係等で、発表の内容はシンプルにするものの、元気な子どもたちの様子を観ていただきたと準備を重ねています。舞台上で発表する人と、観ている人が一緒に発表をつくり上げる試みを行う学年もあります。子どもたちの熱演に励ましの声を送っていただきますよう、お願い申し上げます。